

PRESS RELEASE



報道関係各位

2022年11月2日

黒板など製造過程の端材を活用した「ミニ黒板・白板工作キット」を商品化

廃棄物削減と子供たちの教育支援～SDGsの取り組みの一環

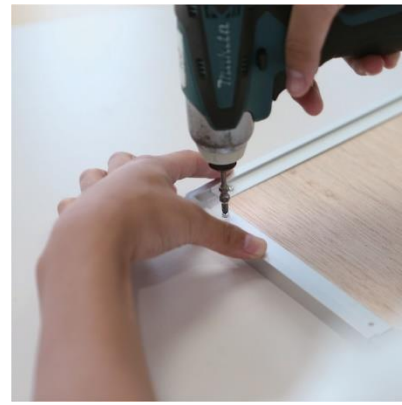
黒板の製造販売、教育環境整備を行う(株)いわま黒板製作所(善通寺市与北町 1131 代表取締役社長/角野幸治)は、学校などで使われる黒板の仕組みがわかる「ミニ黒板・白板(ホワイトボード)工作キット」を商品化しました。

■お絵描きや伝言板として活用、自由研究の素材にも

子どもたちにとって身近な存在である黒板やホワイトボード。これらの仕組みを理解できる「ミニ黒板・ホワイトボード工作キット」を商品化し、当社ネットショップ「うちのがっこう」で販売を開始しました。

(<https://ouchinogakko.thebase.in>)

「ミニ黒板・ホワイトボード工作キット」は、黒板・白板本体の鉄板と裏面のベニヤ板を両面テープで固定し、アルミ枠のパーツを組み合わせて、ビスで固定すれば完成。勉強したりお絵描きしたり、ご家庭でコミュニケーションボードなどとして自由にご活用ください。



〈寸法〉厚み 1.3 cm×H20 cm×W30 cm 約 430 グラム

〈内容〉アルミ枠(長)(短)…各 2 本、角パーツ…4 個、鉄板…1 枚、ベニヤ板…1 枚、ビス…8 個

※ミニ黒板キットにはチョーク 2 本付。

〈ご家庭で用意してもらうもの〉ドライバー、両面テープ

〈販売価格〉

ミニ黒板工作キット:2,000 円(税別)

ミニホワイトボード工作キット:2,000 円(税別)

同マーカー付き:2,200 円(税別)



■「おうちのがっこう」プロジェクト

「ミライノガッコウカンパニー」をブランドネームとするいわま黒板製作所の家庭向け製品ブランドが「おうちのがっこう」です。当社の若手スタッフを中心とした「おうちのがっこう」プロジェクトでは、「黒板やホワイトボードをもっと身近に」をコンセプトに、こどもから大人まで幅広い世代に、おうちでもたのしく使っていただけるような商品を企画・販売しています。

■SDGs活動の一環として

当社では、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の考え方を企業活動に取り入れ、社会課題の解決への貢献を宣言し、SDGsにつながる取り組みのひとつとして「地域と共に発展する」というテーマを掲げています。

この商品は、学校などで使われる大型の黒板の製造の際に出る鉄板や木の端材を廃棄物とせず有効活用するものです。また、ご購入代金の一部は“家庭の経済格差による子どもの教育格差を解消し、貧困の世代間連鎖を断ち切る”ことを目的として活動している団体「チャンス・フォー・チルドレン」に寄付することで、当社の進めるSDGs活動の一環として取り組んでいます。



お問合せ先 いわま黒板製作所
TEL 0877-62-1631
FAX 0877-62-6021
担当/角野幸治 まみのこうじ
090-1577-6194 (メディアの方のみ)
Email iwama@lime.ocn.ne.jp

【会社概要】本社:〒765-0040 香川県善通寺市与北町 1131/
事務所:岡山/創業:1936年/創立:1955年/資本金:1,000
万円/従業員数:約20名/事業内容:黒板、ホワイトボードほか教
育施設の設備・備品一式の製造・販売・施工
本社ホームページ:
<https://www.iwamakokuban.co.jp/>

